

津市版DBO方式による官民連携した公共施設の整備と運営（三重県津市）

取組概要

開設後30年が経過し、老朽化した公共温泉施設の再整備を官民連携により、効率的かつ効果的に実施するため、サウンディング調査とPPP/PFIの可能性調査を合わせた独自の関心表明を募集し、その結果によりDBO方式による整備に着手した。

取組の効果

整備費用は、津市が負担し、今後20年間の維持管理費用の市負担ゼロ及び附帯施設工事費相当分が賃貸借料として津市へ納付される予定であり、経費の大幅な縮減に繋がった。

創意・工夫した点

関心表明の募集にあたり、市内の企業や都市銀行支店、地方銀行を回り、募集の周知と企業の紹介への協力を依頼した。

他団体へのアドバイス

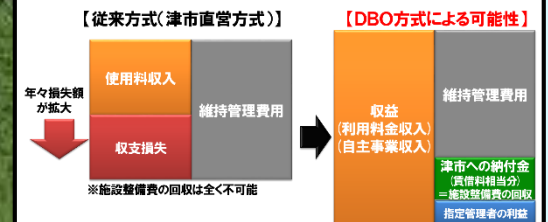
DBO方式(公設民営)による事業実施は、行政内部の前向きな横の連携が重要で、これは行政事務全てに通じることである。

人口 278,105人 (R2.1.1現在)

担当 久居総合支所地域振興課



再整備予想図



DBO方式導入による効果の試算